

ナス (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	疫 病	褐 色 腐 敗 病	灰 色 か び 病	半 身 萎 凋 病	菌 核 病	黒 枯 病	苗 立 枯 病	フ ザ リ ウ ム 立 枯 病	す す か び 病	う ど ん こ 病	褐 色 斑 点 病	褐 色 円 星 病	褐 色 紋 病
サンボルドー水	M1		-	-	◎	◎											
Zボルドー	M1		-	-									◎ *g				
アグロケア水	BM2		1	-			◎						◎	◎			
インプレッションクリ ア水	BM2		*e	-									◎				
サンクリスタル乳	-		1	-										◎			
ジーファイン水	NC・M1		1	-					◎					◎			
クリーンワイドFL	M1・M2		-	-									◎	◎			
トップジンM水㊦	1		1	5			◎		◎	◎							
ベンレート水㊧	1		1 *b	3			◎		◎	◎		◎					◎
アフエットFL	7		1	3			◎		◎				◎	◎	◎	◎	
カンタスDF	7		1	3			◎		◎				◎	◎			
ケンジャFL	7		1	3			◎		◎	◎			◎	◎			
パレード20FL	7		1	3			◎		◎	◎			◎	◎			
アミスター20FL	11		1	4									◎	◎	◎		
ストロビーFL	11		1	3									◎	◎			
ファンタジスタ顆水	11		1	3			◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
ライメイFL	21		1	3		◎											
ランマンFL	21		1	4		◎											
フルビカFL	9		1	4			◎			◎				◎			
セイビアーFL20	12		1	3			◎					◎			◎		
スミレックス水	2		1	6			◎		◎								
ロブラール500アクア FL	2		1	4			◎										
ロブラール水	2		1	4			◎		◎	◎			◎		◎		
リゾレックス水	14		*c	1							®						
リゾレックス粉	14		*d	1							®						
サブロー乳	3		1	5										◎			
スコア顆水	3		1	3						◎			◎	◎			
トリフミン水	3		1	5									◎	◎			
セーフガード乳	3		1	5										◎			
ピクシオDF	17		1	4			◎		◎								
ポリオキシシAL溶	19		1	3			◎						◎	◎			
ビシロックFL	U17		1	3		◎											
サンヨール乳	M1		1	4									◎	◎			
オーソサイド水80	M4		*a	5							◎						
ダコニール1000FL	M5		1	4			◎			◎			◎	◎			
ベルクートFL	M7		1	3			◎			◎			◎	◎			◎
バルミノFL	M10		1	3									◎	◎			

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	疫 病	褐 色 腐 敗	灰 色 か び	半 身 萎 凋	菌 核 病	黒 枯 病	苗 立 枯 病	フ ザ リ ウ ム 立 枯 病	す ず か び 病	う ど ん こ 病	褐 色 斑 点 病	褐 色 円 星 病	褐 色 紋 病
モレスタン水	M10		1	3										◎			
エコピタ液	-		1	-										◎			
モベントFL	-		*f	1										◎			
				3										◎			
フォリオゴールドFL	4・M5		1	3		◎							◎	◎			
ゲッター水㊟	1・10		1	5			◎		◎	◎							
ニマイバー水㊟	1・10		1	3			◎		◎	◎			◎	◎	◎		
スミブレンド水	10・2		1	5			◎		◎								
シグナムWDG	7・11		1	3			◎		◎				◎	◎	◎		◎
ピカットFL	7・9		1	3			◎						◎	◎			
ベジセイバーFL	7・M5		1	3			◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	
ホライズンDF	11・27		1	3		◎											
アミスターオブティFL	11・M5		1	4		◎	◎		◎				◎	◎			
ドーシャスFL	21・M5		1	4		◎			◎								
ショウチノスケFL	9・U13		1	2			◎							◎			
ジャストミート顆水	12・17		1	3			◎										
パンチョTF顆水	3・U6		1	2										◎			
ダイマジン水	17・M7		1	3			◎						◎				
ダイアメリットDF	19・M7		1	3			◎		◎	◎			◎	◎			
ベトファイター顆水	40・27		1	3		◎											
フェスティバルC水	40・M1		7	3		◎											
カーニバル水	40・M5		7	3		◎	◎						◎	◎			
プロポーズ顆水	40・M5		1	4		◎							◎				
ブリザード水	27・M5		1	3									◎	◎			

㊟:ファナートフル含有剤 ㊟:ベパル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での㊟は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。*a:播種後～2～3葉期まで *b:定植後～収穫14日前 *c:播種時 *d:播種前

*e:発病前～発病初期まで *f:育苗期後半～定植当日 *g:常温煙霧

㊟:リゾクトニア菌による病害

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期(回数)	アブラムシ	コナジラミ	フタテンミドリヒメコバエ	アザミウマ	カメシマ	コナカイガラバエ	ハモグリバエ	オオタバコガ	ヨトウム	ハスモンヨトウ	ネキリムシ	コガネムシ類	テントウムシダマシ	ケダニ	ハダニ	チャノホコリダニ	ネコブセンチュウ
除虫菊乳3*	3A		15	◎			◎													
スピノエース顆水	5		12				◎				◎									
コロマイト乳	6		12	◎						◎									◎	
アタックオイル	UNM		-															◎		
スプレーオイル	UNM		-															◎		
トモノールS	UNM		-															◎		
ラビサンスプレー	UNM		-															◎		
クリーンワイドFL	UN		-																◎	
サンクリスタル乳	-		1-	◎◎														◎◎		
ネマキック粒	1B		*e 1																	◎
ネマトリンエース粒	1B		*e 1	オ	ナ													◎		◎
オルトラン粒	1B		*b 1	◎オ	◎									◎						
カルホス粉	1B		*c 2											◎						
サイアノックス乳	1B		12													テ				
ジェイエース粒	1B		*b 1	◎オ	◎															
スミチオン乳	1B		15	◎												◎				
ダイアジノン乳40	1B	劇	*Q 3	露												ろ		露		
ダイアジノン粒5	1B		*c 2											◎		◎				
			*h 3													◎				
マラソン乳	1B		16	◎														◎		
アーデント水	3A		14	◎			カ						◎					◎		
アグロスリン乳	3A	劇	15	◎オ	ナ															
アディオナ乳	3A		13	◎オ			◎								◎					
ガードベイトA粒	3A		*p 3											◎						
テルスターFL	3A	劇	13	◎														◎		
トレボン乳	3A		13	◎◎																
トレボンMC	3A		13	◎																
ベニカS乳	3A		13	◎																
マブリック水20	3A	劇	12	◎オ														◎		
ロディー乳	3A	劇	15	◎オ														◎		
アクタラ粒5	4A		*b 1	◎◎			ミ		マ						◎					
			*d 1	◎																
アクタラ顆溶	4A		13	◎◎			ナ		マ						◎					
アドマイヤー1粒	4A		*d 1	◎			◎													
			*b 1	◎																
アドマイヤー顆水	4A	劇	12	◎◎			◎													
アドマイヤー水	4A	劇	12	◎◎			◎													
アルバリン顆溶	4A		12	◎◎			◎◎													
スタークル顆溶	4A		12	◎◎																
アルバリン粒	4A		*f 2	◎◎																
スタークル粒	4A		*b 1	◎◎			◎		◎											
			*i 1	◎◎					◎											

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ	フ タ テ ン ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	ア ザ ミ ウ マ	カ メ シ	コ ナ カ イ ガ ラ ム シ	ハ モ グ リ バ エ	オ オ タ バ コ	ヨ ト ウ ム	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ	ケ ダ ニ	ハ ダ ニ	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ ニ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
ダントツ溶	4A		1	3	◎	◎		ナ	◎	◎							◎				
ダントツ粒	4A		*n *b *d	3 1	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎					マ										
バリアード顆水	4A	劇	1	3	◎	◎															
ベストガード溶	4A		1	3	◎	◎		ナ	◎												
ベストガード粒	4A		1 *b *i *k *d	3 1	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎		ナ													
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3	◎	◎		◎		◎							◎				
モスピラン粒	4A		*b *g	1	◎ ◎	◎ ◎		ナ								◎					
トランスフォームFL	4C		1	2	◎	◎															
ディアナSC	5		1	2	◎	◎		◎		◎	◎		◎								
アグリメック乳	6	劇	1	3	◎	◎		◎			◎	◎		◎					◎		
アニキ乳	6		1	3	◎	◎				◎	◎		◎							◎	
アフーム乳	6		1	2	◎	◎		◎			◎	◎		◎					◎	◎	
コルト顆水	9B		1	3	◎	◎			ス												
チェス顆水	9B		1	3	◎	◎															
ニッソラン水	10A		1	2															◎		
パロックFL	10B		1	1															◎		
コテツFL	13	劇	1	4				ミ			◎	◎	◎			◎		◎	◎		
アタブロン乳	15		1	3				ナ			◎	◎	◎								
カウンター乳	15		1	4	◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎								
カスケード乳	15		1	4				ナ	◎	マ	◎								◎		
ノーモルト乳	15		1	2	◎	◎								◎							
マッチ乳	15		1	4				◎				◎									
アブロード水	16		1	3		タ														幼	
トリガード液	17		1	3						マ											
ファルコンFL	18		1	2							◎		◎								
マトリックFL	18		1	3							◎		◎								
カネマイトFL	20B		1	1															◎	◎	
マイトコーネFL	20D		1	1															◎		
ダニトロンFL	21A		1	1															◎		
ピラニカEW	21A	劇	1	1															◎	◎	
トルネードエースDF	22A		1	2							◎		◎			◎					
ファイントリムDF	22A		1	2							◎		◎			◎					
アクセルFL	22B		1	3							◎		◎			ニ					
モベントFL	23		*L 1	1 3	灌 ◎	灌 ◎		灌 ◎											灌 ◎	灌 ◎	

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒害 性	使用 時期 (回数)	ア ブ ラ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ	フ タ テ ン ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	ア ザ ミ ウ マ	カ メ シ	コ ナ カ イ ガ ラ ム シ	ハ モ グ リ バ エ	オ オ タ バ コ	ヨ ト ウ ム	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ	ケ ダ ニ	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
スターマイトFL	25A		1	1														◎	◎
ダニサラバFL	25A		1	2														◎	
ダニコングFL	25B		1	1														◎	
フェニックス顆水	28		1	3							◎		◎						
ブリロッソ粒	28		*m	1	◎	◎	◎			◎									
ブレバソンFL 5	28		*L	1						灌			灌	灌					
ブレバソン粒	28		1	2						◎	◎		◎						
ベリマーク S C	28		*m	1						◎			◎						
ヨーバルFL	28		*L	1	灌	灌	灌			灌		灌	灌						
			*r	1	灌														
			1	3	◎	◎	◎			◎	◎		◎						
ウララDF	29		1	3	◎	◎	◎	力											
グレーシア乳	30		1	2		◎	◎			◎	◎		◎					◎	◎
ダニオーテFL	33		1	2														◎	
ダニオーテ 2FL	33		1	2														◎	
ファインセーブFL	34	劇	1	3		バ	◎												
バルミノFL	UN		1	3		◎													◎
ブレオFL	UN		1	4			◎			◎	◎		◎						
モレスタン水	UN		1	3															◎
エコピタ液	-		1	-	◎	◎												◎	
ミネクトデュオ粒	4A・28		*j *d	1	◎	◎	◎			◎			◎						
アフームエクセラ顆 水	6・15		1	2							◎								
アブロードエースFL	16・21A		1	3		◎													◎
ダブルフェースFL	21A・25B		1	1														◎	◎

*:商品により適用病害虫等が異なる。

*b:定植時 *c:播種時又は定植時 *d:育苗期後半 *e:定植前

*f:生育期(但し収穫前日まで) *g:定植前日～定植当日 *h:収穫開始3日前まで

*i:育苗期 *j:鉢上げ時～育苗期後半 *k:播種時又は鉢上げ時

*L:育苗期後半～定植当日 *m:育苗期後半～定植時 *n:定植後(但し収穫前日まで)

*p:生育初期 *Q:収穫開始3日前まで *r:定植直後

オ:オンシツコナジラミ カ:ミカンキイロアザミウマ ス:カスミカメムシ類

タ:タバココナジラミ類幼虫及びオンシツコナジラミ幼虫 テ:テントウムシダマシ

ナ:ミナミキイロアザミウマ ニ:ニジュウヤホシテントウ バ:タバココナジラミ類

マ:マメハモグリバエ ミ:ミカンキイロアザミウマ及びミナミキイロアザミウマ

ろ:露地栽培でテントウムシダマシで登録 灌:灌注処理で登録 幼:幼虫 露:露地栽培

苗:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットに散布

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病虫害発生消長		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 害	露地												
	灰色かび病												
	うどんこ病												
虫 害	アブラムシ類												
	ハダニ類												
	チャノホコリダニ												

作 型 — : 栽培期 — : 収穫期
病虫害発生消長 — : 発生期 — : 発生盛期

ナ

ス

病虫害名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病	生育期	1. 高畦にして畑の排水をはかる。 2. マルチ栽培をする。 3. 発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンボルドー(水) 300～600倍	
褐色腐敗病	生育期	1. 高畦にして畑の排水をはかる。 2. マルチ栽培をする。 3. 発生を見たら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ビシロックフロアブル 1000倍 ホライズンドライフロアブル 2500倍 ランマンフロアブル 2000倍	褐色腐敗病は疫病の一種であり、6月中旬～9月下旬に高温多雨の年に発生が多い。
灰色かび病	生育期	1. ハウス内では過湿に注意する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤● 1000～1500倍 スミレックス水和剤● 1000～2000倍 セイビアーフロアブル20 1000～1500倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 フルピカフロアブル● 2000～3000倍 ベルコートフロアブル 2000倍	施設栽培で発生が多いが、低温多湿が続くと露地でも発生する。 果実の発病は咲き終わった花卉から始まるので、多発期には花卉を摘み取ってやると良い。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので、連用しない。

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
半身萎凋病	播種前	1. 床土消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. トルバム・ビガー、トレロなどの台木を用いて接木栽培を行う。	病原菌は多犯性でイチゴ、ウド、オクラ、フキ、キク等を侵す。 トルバム・ビガーは低温期の生育が遅いので注意する。 接木栽培とマルチ畦内消毒を併用すると効果が高い。
	定植前	・ 本畑は消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	
	生育期	・ 次の薬剤を土壌灌注する。 ベンレート水和剤○ 500倍 200～300ml/株 1000倍 400～600ml/株	
黒枯病	生育期	1. マルチ栽培する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟ 1500倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍	黒枯病は施設で発生が多いが、多湿時には露地でも発生する。 ㊟:チオファネートメチル含有剤 ○:ベニミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での○は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。
苗立枯病	播種前および播種時	1. 床土を消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 播種時に次の薬剤を灌注する。 リゾレックス水和剤# 500倍 3L/㎡	病原菌はリゾクトニア菌、ピシウム菌、フザリウム菌による。 # リゾクトニア菌にのみ有効である。
	発芽後	・ 発病したらすぐ抜きとる。その跡や周りに次の薬剤を灌注する。 オーソサイド水和剤80 800倍 2L/㎡	
すすかび病	生育期	・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 トリフミン水和剤● 3000倍 ベルクートフロアブル 2000倍 ロブラール水和剤● 1000倍	施設で発生が多いが、露地でも梅雨期や秋雨期に多発することがある。 ●耐性菌生じるおそれがあるので連用しない。
うどんこ病	生育期	・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 サプロール乳剤● 1000～2000倍 トリフミン水和剤● 3000～5000倍 パンチョ T F 顆粒水和剤● 2000倍 ベルクートフロアブル 2000倍	●耐性菌を生じるおそれがあるのでDMI剤は連用しない。

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
青枯病	播種前	1. 床土消毒をする。(土壌消毒の項参照)。 2. 接木栽培を行う。	トマトの青枯病の項参照
	定植前	・ 本畑は消毒を行う。(土壌消毒の項参照)。	
	生育期	1. 高畝栽培する。 2. 発病株は早期に処分する。	
半枯病	定植前	1. 発生圃場ではナス以外の作物を栽培する。 2. 接木栽培を行う。	病原菌はナスのみを侵し、土壌中に長期間生存する。 発生がひどい場合には耐病VFを台木として接木栽培する。
	生育期	・ 発病株は早期に処分する。	
褐色斑点病	生育期	1. 被害茎葉・果実を除去する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフェットフロアブル 2000倍 ポリバリン水和剤 1000倍	リゾクトニア菌により葉腐れ、落葉、果実腐敗を生ずる。 発生は突発的で、気象条件に大きく左右される。7～9月降雨が連続すると蔓延が速い。
アブラムシ類(モモアカアブラムシ・ワタアブラムシなど)	定植時	・ 次の薬剤のいずれかを植穴に施用し、土とよく混ぜる。 アクタラ粒剤5 1g/株 アドマイヤー1粒剤 1～2g/株 オルトラン粒剤 1～2g/株	
	生育期	・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～4000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	
コナジラミ類	生育期	・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アブロードエースフロアブル 1000～2000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000～3000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000～3000倍 ベストガード水溶剤 1000～2000倍	

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤 2000倍 スピノエース顆粒水和剤 2500～5000倍	
ミナミキイロアザミウマ	定植時	・次の薬剤のいずれかを施用する。 ベストガード粒剤 (植穴土壌混和) 1～2 g/株 モスピラン粒剤 (植穴土壌混和) 1 g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤# 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍	#アザミウマ類での登録
トマトハモグリバエ	生育期	・発生を見たら早めに次の薬剤のいずれかを散布する。 ブレオフロアブル# 1000倍 ブレバソnfフロアブル5# 1000～2000倍	#ハモグリバエ類での登録
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤 2000倍 エスマルクDF* 1000倍 コテツフロアブル 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 ブレオフロアブル 1000倍 ブレバソnfフロアブル5 2000倍	*野菜類での登録
ネキリムシ類	は種時又は定植時	・次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 カルホス粉剤 6 kg/10 a ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10 a	発生量は多くない。被害株の株元の土を調べ、幼虫を捕殺する。
	生育初期	・次の薬剤を株元散布する。 ガードベイトA(粒) 3kg/10 a	
テントウムシダマシ類(ニジュウヤホシテントウ・オオニジュウヤホシテントウ)	生育期	・発生が多いときは次の薬剤のいずれかを散布する。 コテツフロアブル 2000倍 サイアノックス乳剤# 1000倍 スミチオン乳剤 1000～2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	ジャガイモを加害後、ナス、トマト、ゴボウなどに移り被害を与える。 #テントウムシダマシでの登録

ナス(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハダニ類	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 コロマイト乳剤 1500倍 スターマイトフロアブル 2000倍 ダニサラバフロアブル 1000倍	乾燥が続くと発生が多い。多発すると防除がむずかしい。初期のうちに、むらのないように防除する。
チャノホコリダニ	発生初期	・被害症状が見られたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフアーム乳剤 2000倍 アプロードエースフロアブル 1000倍 コテツフロアブル 2000倍 モレスタン水和剤◇ 2000倍	夏期、高温乾燥条件で多発する。 ◇モレスタン水和剤は花卉に葉斑が出るが、着果などにほとんど影響はない。
ネコブセンチュウ	播種前 定植前	・床土は土壤消毒する(土壤消毒の項参照)。 1. 作付予定地で前作物に寄生があったところでは土壤消毒する(土壤消毒の項参照)。 2. 次の薬剤のいずれかを全面土壤混和する。 ネマキック粒剤 15～20kg/10 a ネマトリンエース粒剤△ 15～20kg/10 a	△定植前のネマトリンエース粒剤の施用は、オンシツコナジラミ、ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類にも登録がある。